

埼玉トヨペット Green Brave



2020 RACE REPORT

#52 埼玉トヨペット Green Brave GR スーブラ GT

2020年8月8日(土)・9日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round 2

たかのこのホテル FUJI GT 300km RACE

富士スピードウェイ(静岡県小山町)

■ ■ ■ ■ ウェイトハンデをもろともせず殊勲の6位入賞 ■ ■ ■ ■

SUPER GT 第2戦が富士スピードウェイで行われた。レース距離は300km。開幕戦でタイヤ無交換作戦を遂行し、GR スーブラ GT のデビューウィンを勝ち取った埼玉トヨペット Green Brave。しかし、第2戦では安全上の理由により、レース中のタイヤ交換(4本)が義務付けに。獲得ポイントに応じて加算される、クラス最大60kgのウェイトハンデを吹き飛ばそうと躍起になっているチームにとって、得意な作戦を封じ込められた格好だ。

土曜日の天候は曇り。午前中に行われた公式練習ではマシンのバランス確認やタイヤの評価を行い、川合選手が10位(1分38秒142)のタイムをマーク。ウェイトを積んでも、GR スーブラ GT にトップ10を争う力があることを見せつけた。ノックアウト予選(Q1)のドライバーは吉田選手。吉田選手は最後のアタックで1分37秒744のベストタイムをマーク。7位につけ、2戦連続のQ2進出を決めた。Q2のドライバーは86/BRZレースでも優勝し、波に乗る川合選手。川合選手はコーナーが連続する第3セクターでウェイトの影響を感じながらも、1回目のアタックで1分37秒089をマーク。この時点で6位につける。続けてアタックを行う川合選手だが、1回目のタイムを上回ることができず、9位でQ2を終えた。

決勝日の天候は曇り。イン側、25番グリッドからスタートした川合選手はポジションをキープして1コーナーへ。ヘアピンでアウトから仕掛けるが、オーバーラン気味となり、順位をひとつ落としてしまう。1台抜き、オープニングラップ終了時の順位は9位。川合選手のペースは良好で、前を走るライバルを1台ずつ確実に抜いていく。7周目に8位、11周目に7位。川合選手のペースはなおも衰えず、4秒あった#56GT-Rとの差をグングン詰めていく。22周目の1コーナーで#56GT-Rをインからパス。ライバル数台がピットに入ったため、順位は4位まで上がっている。川合選手は26周目の終わりにピットイン。吉田選手に交代し、店舗メカニックが今シーズン初のタイヤ交換と給油をノーミスで行いピットアウトする。コースに復帰した吉田選手の順位は16位。上位のクルマが続々ピットインし、吉田選手の順位は上がっていくが、ピットアウト直後からABSにトラブルを抱えており、前を走る#4メルセデスAMGとの差をなかなか詰めることができない。3~4秒差のまま一進一退の攻防が続いたが、45周目に#4メルセデスAMGが2回目のピットイン。これにより吉田選手は7位に浮上する。吉田選手はガソリンが減り、車体が軽くなった後半にペースアップ。前を走る#6トヨタ86との差を徐々に縮めていき、52周目にパス。6位でチェッカーを受け、60kgのウェイトハンデを背負いながらも、トップ6に食い込んだ。この結果により、チーム&ドライバーランキングともに堂々の1位をキープ。ポイントリーダーとして次戦鈴鹿にのぞむことになった。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット Green Brave GR スーブラ GT

(吉田広樹/川合孝汰)

決勝: 6位 (60周、1時間42分05秒476)

予選: 9位 (Q2: 1分37秒089)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	シンティアム・アップル・ロータス(ロータス エヴォーラ MC)	61周
2位	スバル BRZ R&D SPORT(スバル BRZ GT300)	61周
3位	ARTA NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	61周
4位	LEON PYRAMID AMG(メルセデス AMG GT3)	61周
5位	リアライズ 日産自動車大学校 GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	60周
6位	埼玉トヨペット Green Brave GR Supra GT(トヨタ GR スーブラ GT)	60周

天候:曇、路面:ドライ ※トップ6まで(出走30台)



DRIVERS VOICE



第1ドライバー吉田広樹

(予選後) クルマのバランスは悪くないのですが、まわりに対し、ウエイトを含めどれぐらいいくなかと思っていました。そんなに余裕があるとは思っていませんでした。ウエイトの影響はありますが、うまくアジャストしている感じです。自分の中でベストを尽くすだけという感覚なので、まわりのことはあまり気にしませんでした。

(決勝後) エンジンをかけてピットから出て行く時に ABS のアラームがつかまりました。おそろおそろブレーキを踏んでも ABS が効いていないのかわからず、ブレーキがロックして白煙を吹いていたので、フラットスポットができないようにだけ気をつけながら走りました。重いウエイトを背負って、ポイントが獲れたのは大きかったですし、今年初めてタイヤ交換した店舗メカニックもいたのですが、しっかりこなしてくれました。いろいろな意味で次戦につながるレースでした。



第2ドライバー川合孝汰

(予選後) タイヤのあたためと場所取りはうまく決まりました。自分の中でも今週を通してベストラップが出せ、結構いいところにいると思ったのですが、まわりのクルマの上がり幅が大きくて、ちょっと予想外でした。セクター1、2 のバランスは悪くないのですが、セクター3 では60kgのウエイトが効いていました。

(決勝後) 1周目に欲をかきすぎまして、ヘアピンで外からいこうと思ったらダストを踏んでオーバーランしてしまいました。吉田さんと比べて100Rで突っ込みすぎなのですが、レース中、前のクルマを抜く時に強いというのを前回のレースで学んだので、今回もここをメインで考えていました。スイスイ抜けなかったことは今後の課題。チームに用意してもらったクルマがいい分、走れているだけなので、自分自身のレベラップをしなければならぬと今日のレースで感じました。

MECHANIC VOICE



前回優勝して60kgのおもりを背負っていたのですが、上位に入れました。すごいことだと思います。自分の担当は給油なので、いつも通りやろうと思っていましたが、今回はタイヤ交換があるので、ホイールガンの人たちに邪魔にならないように手早くやろうと心がけていました。次回も精一杯頑張ろうと、少しでもチームの力になりたいと思います。(東松山支店・田中敏夫)



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	52	埼玉トヨペット Green Brave	31
2位	2	Cars Tokai Dream28	26
3位	55	ARTA	21
4位	11	GAINER	20
5位	56	KONDO RACING	20
6位	65	K2 R&D LEON RACING	19

トップ6まで(全27チーム中)



PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社 Team Iwakiri Japan



株式会社 ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順

【次戦予告】 8月22日～23日 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)